

教科	地理歴史科	科目	世界史理解	単位	3~4	学年学科	3年・普通科
使用教科書	総合マスター 世界史 地図・写真・史料			教科担任	地理歴史科(世界史担当)教員		

●学習到達目標

科目の目標	<p>(1) 世界史の大きな枠組みと展開に関する諸事象について、基礎的・基本的な知識を理解するとともに、説明する力を育成する。</p> <p>(2) 各国の社会・経済・文化に関する図表や領域の広がりを示す地図の読解、様々な国・時代に作成された文献の読解をすることで、社会事象の歴史的な見方・考え方を育成するとともに、多面的に物事をとらえる力の育成を図る。</p> <p>(3) 考察したことを効果的に説明したり、議論したりするなど協働的な活動を取り入れることで、地球世界の課題に対する多面的・多角的な考察や深い理解を促し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究する力の育成を図る。</p>
-------	---

●学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	考查
1学期	4	第1章 先史の世界	<p>・古代文明や諸地域の歴史的特質が形成される過程を学び、地域間の差異について図表や史料を比較しながら考察していく。</p> <p>・諸地域の交流の活発化による交流圏拡大について学び、交易の拡大に伴う各地の政治・経済・文化の再編を、地図などを用いて考察する。</p>	教科書や世界史探究で購入した資料集を用いる。	中間考查 期末考查
	5	第2章 オリент世界の形成			
	6	第3章 東アジアの世界			
	6	第4章 南アジア世界・東南アジア世界			
	6	第5章 西アジア・地中海世界			
	6	第6章 イスラーム教とヨーロッパ世界の形成			
	6	第7章 イスラーム教の伝播とヨーロッパ世界の展開			
	7	第8章 アジア世界の展開			
2学期	9	第9章 アジア世界の繁栄	<p>・諸地域の結合と相互依存関係の強化、国家間や諸民族の対立の激化を、複数の立場から考察しながら理解を深める。</p> <p>・冷戦から今日に至る歴史を理解するとともに、解決が目指される諸課題への考察を深め、持続可能な社会を目指すために何が必要かを考える。</p>	探究的な学びを深めたり、相互に発表したりする場面では、ITC を適宜利用する。	中間考查 期末考查
	10	第10章 近世ヨーロッパ世界			
	10	第11章 資本主義の確立と近代国民国家の形成			
	11	第12章 ヨーロッパ列強のアジア進出			
	11	第13章 帝国主義の時代			
12	第14章 2つの大戦				
3学期	1	第15章 ミソ冷戦から現代へ			
	2				

●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解できる。また諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、比較互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察できる。	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとする態度がみられる
B	諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解し、また資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能をおおむね身につけている。	歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、比較互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的におおむね考察できる。	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を追究、解決しようとする態度がおおむねみられる
C	諸課題の形成に関わる近現代の歴史の理解に乏しい。また資料から様々な情報を調べまとめる技能を身につけることが難しい。	歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察することが難しい。	歴史の変化に関わる諸事象について、課題を追究、解決しようとする態度を見てとれない。

評価 方法	○ 定期考査によって出題範囲における知識と技能の習得の状況、思考・判断・表現を評価する。		
	○ 課題追究学習の際のレポートを評価のための資料とする。		
評価 の 重み	○ 学習活動の様子や発表、討論、授業プリントの記述などの内容を評価のための資料とする。		
	○ 単元ごとに行う自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とする。		
	$\alpha=0.4$	$\beta=0.4$	$\gamma=0.2$

令和6年度 年間指導計画

宮崎県立延岡高等学校

教科	地理歴史科	科目	世界史理解	単位	3	学年学科	3年・普通科(理型)
使用教科書	総合マスター 世界史 地図・写真・史料			教科担任	地理歴史科(世界史担当) 教員		

科目の 目標	<p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関する諸事象について、基礎的・基本的な知識を理解するとともに、説明する力を育成する。</p> <p>(2) 各国の社会・経済・文化に関する図表や領域の広がりを示す地図の読解、様々な国・時代に作成された文献の読解をすることで、社会事象の歴史的な見方・考え方を育成するとともに、多面的に物事をとらえる力の育成を図る。</p> <p>(3) 考察したことを効果的に説明したり、議論したりするなど協働的な活動を取り入れることで、地球世界の課題に対する多面的・多角的な考察や深い理解を促し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究する力の育成を図る。</p>
-----------	---

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	考査
----	---	------	--------	----	----

第1学期	4	第1章 先史の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1章から第6章までは、古代文明や諸地域の歴史的特質が形成される過程を学ぶとともに、地域間の差異について図表や史料を用いて比較しながら考察していく。</li> <li>・第7章から第10章までは、諸地域の交流の活発化による交流圏の拡大について学ぶとともに、交易の活発化に伴う各地の政治・経済・文化の再編を、地図や図表、史料を用いて考察する。</li> <li>・第11章から第14章までは、諸地域の結合の強まりやそれに伴う相互依存関係の強化、国家間や諸民族の対立の激化を、複数の立場から考察しながら理解を深める。</li> <li>・第15章では、冷戦期やその後今日に至るまでの歴史を理解するとともに、解決が目指される諸課題にしての考察を深め、持続化な社会を目指すためには何が必要かを考える。</li> </ul>	教科書や世界史探究で購入した資料集を用いる。	中間 考 査
	5	第2章 オリエント世界の形成			
	6	第3章 東アジアの世界			
	7	第4章 南アジア世界・東南アジア世界			
	8	第5章 西アジア・地中海世界			
	9	第6章 イスラーム教とヨーロッパ世界の形成			
	10	第7章 イスラーム教の伝播とヨーロッパ世界の展開			
	11	第8章 アジア世界の展開			
第2学期	9	第9章 アジア世界の繁栄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第11章から第14章までは、諸地域の結合の強まりやそれに伴う相互依存関係の強化、国家間や諸民族の対立の激化を、複数の立場から考察しながら理解を深める。</li> <li>・第15章では、冷戦期やその後今日に至るまでの歴史を理解するとともに、解決が目指される諸課題にしての考察を深め、持続化な社会を目指すためには何が必要かを考える。</li> </ul>	探究的な学びを深めたり、相互に発表したりする場面では、ITCを適宜利用する。	中間 考 査
	10	第10章 近世ヨーロッパ世界			
	11	第11章 資本主義の確立と近代国民国家の形成			
	12	第12章 ヨーロッパ列強のアジア進出			
第3学期	1	第13章 帝国主義の時代			期末 考 査
	2	第14章 2つの大戦			
		第15章 米ソ冷戦から現代へ			